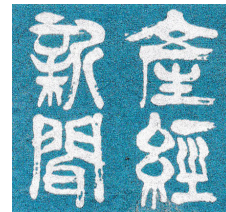


牛のおなら

<http://kuraku.jp>



## 地球のかおり

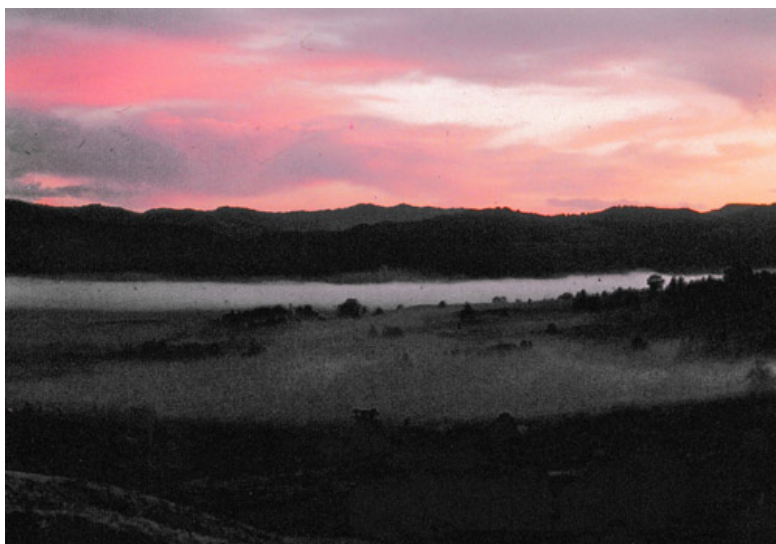
ニュージーランド北島のオークランドから、北端のレインガ岬を目指す途中、道の切れ目から牧場が見えた。何ともいえない田園のかおりがする。しだいに明るくなり、ぶ厚いもやが動き始める。同じ光景は二度と見られない。牛たちの姿が見えたと思ったら、シャーンという派手な音が。牛の放尿音。さては、このもやの正体は「牛のおなら」だったのか。そんな楽しい想像が頭に浮かんだ。

(夢絵作家 久樂迎古)

牛のおなら

南半球ニュージーランドは、カナダとならんで好きな国。  
季節を変えて、北島、南島、何度も訪問、延べ3ヶ月以上は滞在している。  
というのも、両国とも開放感が最高。

レインが岬は北島、最北端だが、南島、最南端まで。  
死と背中合わせの体験も数々。この地の厳しい体験は、ミルフォードでのどしゃ降り。  
数日続いた。写真どころではなかった。



画像でお伝えできるのは、癒し系の美しい光景だが、  
時に、無謀に近い一人という旅のスタイル、自然の驚異の試練、今は有難い体験。  
それだけに、22日の京都の酷暑も何のその、と思って取材外出。

弱音は言いたくないものの、台風の合間の好天気。軽く運動のつもりが昨日も約1万8千歩。  
夜、ケアとクールダウンに四苦八苦。今朝は快調、午前9時前、作成。  
この「牛のおなら」、状況と心模様は次に。